# GBJ インタビューを経て　久保奈々

11 月 6 日のインタビューで質問やフィードバックを頂いた箇所について追記する。

**■インセンティブシステムを設ける**

公共交通機関の無料化は、温室効果ガス排出の原因となる自家用車の利用を制限するための効果的な政策として注目されている。

特に、フランス北部のリール市では貸自転車の無料化は自身の提案と類似しており、参考となるであろう。

また、MaaS(Mobility as a Service)の一環として自転車運転が組み込まれることも想定されるということも、インタビュー後に知った。ここでは、Google map のように自身の目的地への様々な交通手段が提示されるというものであるが、実際に取り組んでいる国では疲れるという理由で自転車の需要が無いそうだ。自身が自転車好きであるために、それほど気にしていなかったが、意外にも自転車移動への需要は低く、私の認識と世間との乖離が生じていることを確認した。

**■普及を図る為に対象を定める**

自転車を日常的に使いたいと思う人は限定的である。そのため、昨今の筋トレブームに乗っかって、日常的に少し負荷をかけてトレーニングしたいというような需要に応えるなど、対象を定めることが普及には必要だ。

**■屋内での使い方を具体化**

自転車発電によってどれほど発電できるかはっきりしないが、スライドにあるような利用方法が出来ることが期待される。

**■感想・まとめ**

GBJ のこの企画を通し、カーボンニュートラルな世界を実現するための取り組みをたくさん知ることが出来た。













